学校番号	３２０

令和３年度　数学科

教科	数学Ａ	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	数学Ａ改訂版　（啓林館）						
副教材等	エスコート（啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

定期的に宿題を出します。継続して復習する習慣を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

基礎的な問題を確実に解けるようにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質における考え方や体系に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察するとともに，過程を振り返り多面的･発展的に考え，表現する。	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，よりよく問題を解決する。	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト ワークシート レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	場合の数と確率	1 集合と場合の数 2 確率とその基本性質 3 いろいろな確率	 ○ ○	○ 	 ○	 ○ 	a: 条件つき確率や確率の乗法定理に関心をもち，それらをさまざまな問題に活用しようとしている。 b: 順列，円順列，重複順列について考察し，それらの関係を捉えることができる。 c: 複雑な確率を，条件つき確率や確率の乗法定理を用いて求めることができる。 d: 反復試行の定義を理解し，反復試行の確率を求めるための基礎的な知識を身につけている。	・課題の提出状況 ・副読本の問題の チェック ・出席状況 ・定期考査 ・授業態度等
2	整数の性質	1 約数と倍数 2 ユークリッドの互除法と不定方程式 3 整数の性質の活用	○ 	 ○	○ 	○ 	a: ユークリッドの互除法を理解し，その有用性を認識して活用しようとしている。 b: 除法の性質を用いた割り算の余りによる整数の分類を利用して，整数の性質を考察することができる。 c: 2元1次不定方程式を，未知数の係数が互いに素であるときの性質を用いる方法と，ユークリッドの互除法を用いる方法の 2 通りの方法で解くことができる。 d: 最大公約数と最小公倍数の定義を理解するとともに，最大公約数と最小公倍数の関係を理解している。	・課題の提出状況 ・副読本の問題の チェック ・出席状況 ・定期考査 ・授業態度等

3	図形の性質	1 三角形と比 2 円の性質 3 作図 4 空間図形	○	○	○	○	a: オイラーの多面体定理が，どのような凸多面体において成り立つかを考察しようとしている。 b: 2 直線の位置関係，2 平面の位置関係，直線と平面の位置関係について，それぞれどのような場合があるか考察することができる。 c: 長さ の線分を作図することができ，得られた線分が確かに条件を満たすことを証明することができる。 d: 直線と平面の垂直の定義，三垂線の定理を理解し，図形の性質を証明するための基礎的な知識を身につけている。	・課題の提出状況 ・副読本の問題の チェック ・出席状況 ・定期考査 ・授業態度等

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。